

2026年度企画展

『暁斎百鬼画談』と妖怪

中川船番所資料館新収蔵資料
『暁斎百鬼画談』 全場面公開

自然の不思議や出来事を、人々がどのような想像力で感じとり、「妖怪」という存在を生み出してきたのか、江戸時代から現代まで、時代を追いながら紹介します。

画像は『暁斎百鬼画談』（中川船番所資料館所蔵）より

2026年 6月3日(水)～8月30日(日)

開館時間 9:30～17:00(16:30最終入館)

休館日 毎週月曜日(7月20日は祝日開館し、翌日休館。7月31日(金)～8月6日(木)は燻蒸のため臨時休館)
※7月18日(土)～26日(日)は、イベント「妖怪かくれんぼ」同時開催のため一部演出を変更します。

観覧料 大人 200円、小中学生及び高校生等 50円

会場 江東区中川船番所資料館 2階展示室

〒136-0072 東京都江東区大島9-1-15 TEL03-3636-9091
都営地下鉄新宿線「東大島」駅下車(大島口)より徒歩5分

主催 公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

江東区中山船番所資料館



『暁斎百鬼画談』と妖怪

展示内容

- 第1章 妖怪とはなにか
- 第2章 江戸の妖怪たち
 - ・江戸の七不思議
 - ・江戸歌舞伎の妖怪
- 第3章 河鍋暁斎と『暁斎百鬼画談』
 - ・河鍋暁斎の多彩な画業
 - ・『暁斎百鬼画談』の先行例
- 第4章 現代の妖怪表現

【展示物一例】

- ・『暁斎百鬼画談』(中川船番所資料館所蔵)と全場面パネル展示
- ・『新富座妖怪引幕』(早稲田演劇博物館所蔵)パネル展示
- ・『妖魂まだら狐』(江東区深川図書館所蔵)

担当職員によるミュージアムトーク

日時:6月13日(土)・7月18日(土)・8月15日(土) 14:00~14:30
 会場:中川船番所資料館 2階展示室 対象:どなたでも各10名
 参加費:観覧料のみでご参加いただけます。
 申込み:当日直接会場へ

関連講演会「江戸歌舞伎の妖怪」

歌舞伎の舞台には、化猫や妖狐など、多様な妖怪が登場します。江戸時代の作者や役者たちは観客をこわがらせるために工夫を重ね、芝居作りをしてきました。そんな「つくりもの」の妖怪の面白さについて解説します。

日時:6月27日(土) 14:00~15:30

会場:中川船番所資料館会議室

講師:法政大学教授 横山泰子氏

対象:中学生以上30名

参加費:観覧料のみでご参加いただけます。

申込み:

6月5日(金) 9:00~

Web・電話にて先着順

定員になり次第締切



講師:横山泰子

会期:2026年6月3日(水)~8月30日(日) 開館時間:9:30~17:00(16:30最終入館)
 休館日:毎週月曜日(7月20日は祝日開館し、翌日休館。7月31日(金)~8月6日(木)は燻蒸のため臨時休館)
 ※7月18日(土)~26日(日)は、イベント「妖怪かくれんぼ」同時開催のため一部演出を変更します。
 観覧料:大人 200円、小中学生及び高校生等 50円 会場:江東区中川船番所資料館 2階展示室

同時開催 ミニ企画展示 「妖怪絵師 東雲騎人作品展」



東雲騎人(しのめきじん)プロフィール

千葉県生まれ。蟹座。千葉大学文学部日本文化学科・千葉大学大学院日本文学専攻にて妖怪研究に邁進するほどの妖怪好き。こどものころからお化けの絵を描き、保育園の連絡帳にはすでに一つ目のお化けを描いていたという筋金入り。気がつけば今に至る。尊敬する絵師は河鍋暁斎・月岡芳年。



交通アクセス

- 地下鉄(都営新宿線)
 - 「東大島駅」(大島口)下車徒歩5分
- バス(都営バス)
 - 「第五大島小学校前」下車徒歩2分
 - 「東大島駅」下車徒歩5分

江東区中川船番所資料館

〒136-0072 東京都江東区大島9-1-15
 TEL 03-3636-9091 FAX 03-3636-9094